様式３（2020.08改）

作成日　令和　２年　１０月１０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373700315
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	職員の紹介で大正琴や民謡、踊りなど披露してくださっていたボランティアグループの来訪は現在ストップしています。また、昨年の秋まつりでは獅子舞にお捻りを渡したり、中学校の運動会に招かれ応援するなどの地域交流もありましたが、本年の秋は難しいことが予測され寂しい限りです。それでも、子ども会の廃品回収に協力する機会や西瓜・キュウリ・ささげなどの野菜のおすそ分けは続いています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	1月までは地域包括支援センター・区長・民生委員・家族・管理者・職員をメンバーとして10名余集まって通常開催できていましたが、3月からは管理者が2ヶ月分の活動内容を市役所介護福祉課に持参、地域包括センターには郵送する方法をとり、また5月、7月もコロナ対策として同様の方法で手続きしています。今回のことで、地域交流の場として改めて大切なものであることを管理者も実感しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	集団指導は中止ですが、市役所介護福祉課にはこれまで通り事故報告書を届けるなど月1回程度訪問しており、窓口訪問に特段制限はありません。介護相談員の訪問は年数回あり、本件おいても休止のお知らせはないものの、玄関から先に入ることは法人の決まりとなっているため辞退となる予定です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	多い人は週1回の面会がありますが、便りを通じて本人の消耗品購入を依頼、来所してもらえるよう工夫しています。家族には快く対応してもらえ、小遣い補充や衣替えにも手間暇を惜しまず協力的で管理者も助けられています。また、利用者の外出がほとんどできなくなったため、「何とか地元行事を見せてあげたい」として、6月の御裳神社「尾西あじさいまつり」には車から降りず、眺めるだけですが出かけています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										